



15日は全校でラモス氏の御講演。大盛り上がりでエールをいただきました。

吾婦二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾婦第二中学校

令和5年3月20日
校長 駒田 るみ子

御礼

地域・保護者の皆様今年度も本校教育活動への御理解・御協力ありがとうございました。

劇団四季「バケモノの子」

3月3日、校外学習で3年生が芸術鑑賞教室として劇団四季の「バケモノの子」を観てきました。よい思い出になったと思います。その中に「闇と共に生きる」というフレーズがありました。誰も弱い部分をもっているけれど、それを抱えて生きていく。それが強さや優しさになるのだと感じました。3年生の胸にはどんなフレーズが残ったのでしょうか。



←開演前

区内防災コンテスト

にて、本校ボランティア防災部が準優勝しました。今後活かしていきたいです。

新たな道を歩み始める3年生に

伝統のバトンを受け取った1・2年生に 幸あれかし

校長 駒田 るみ子

3月20日は本校74回卒業式です。95名の3年生が巣立ちます。今年度の3年生は校庭の青空の下での入学式から始まり、時差登校も経験しました。オンライン授業も行いました。「初めての」と冠のつく事柄がとて多い学年でした。中学教教育の中でも特に合唱のように声を出すこと、みんなで調理して食べること、授業や部活動で接触のある運動すること、茶道部ではずっとエアお点前の練習でした。様々にこれまでの常識とは違う事柄が思い出されます。



しかし、三年間本校で過ごした3年生の皆さんの様子を見てみると、穏やかに落ち着いてたくさんの活動に取り組んでいたことが印象的です。おそらく感染症対策の制限をはねのけ、窮屈な中にも豊かな発想力で楽しく乗り越えたのではないかと思います。そんな皆さんから後輩たちは二中ならではの強さや優しさを学んできました。改めて最上級生として立派に過ごした3年生に「ありがとう」と言いたいです。

さて、先日のラモス瑠偉氏の講演会は貴重なお話でした。あきらめないことや継続すること。言葉では分かっていることも難しいですね。そのためには情熱、好きだという強い気持ちが大切だと、教えていただきました。お話しからそのお人柄の魅力も感じました。また、お母様への深い孝行の気持ちも印象に残っています。私達への十分過ぎるエールになりました。皆さんはラモスさんの言葉から何を受け止めたのでしょうか。

コロナ禍が始まった時に生徒に伝えた言葉を思い出しました。

Adversity is the best School. (逆境は最高の学校である)もしかしたら、今年度の卒業生はそれをどの学年よりも、それを一番体験したのかもしれない。そんな3年生を晴れやかに見送り、残された在校生はしっかりとバトンを引き継ぐことでしょう。二中学生に幸あれと願います。見守ってくださった保護者、地域の皆様に改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

AWARD-WINNING

○第50回防災コンテスト 中学生の部 準優勝 ボランティア防災部

○令和4年度 第Ⅲ期 体力アップキャンペーン

みんなで連続跳び 第1位 吾孺第二中学校 2年2組男子

第2位 吾孺第二中学校 1年2組女子

第3位 吾孺第二中学校 3年3組男子



吾孺二中ホーム
ページをご利用
ください

○第50回防災コンテスト



《コンテストに向けて毎朝、一生懸命練習を積み重ねてきました》



《見事、準優勝！！練習の成果を十分に発揮することができました》

○ラモス瑠偉氏 特別講演会「夢をあきらめない」

